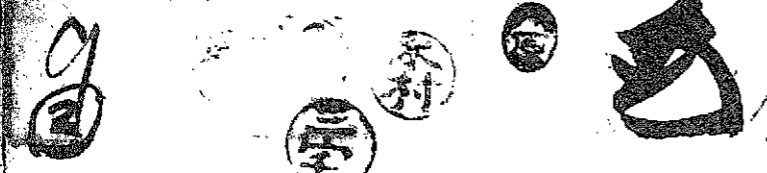


昭和三十二年一月三日 戦闘業務詳報

陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部

戦闘概況

地区隊ハ前地区タル國頭所本部町渡久地港ヨリ残置戦  
闘資材前送、爲一月二十日ヨリ輸送船彦山丸ニ  
搭載作業中、六三〇南西諸島ニ對シ空襲警報發令セ  
ラル。時六五〇頃ナリ本島南端方向ニ於テ敵機銃掃射ニ依  
ル火花散ルヲ認ム。七〇〇頃西北方ヨリ侵入セル敵グラマン  
機編隊編隊ハ敵ハ二群ニ別レ一隊ハ伊江島飛行場ヲ爆  
撃又ハ機銃掃射ヲ一隊ハ名護方向ニ退去スルト同時ニ東方  
ヨリ突然出現セルグラマン機編隊四機編隊ハ渡久地港外  
ニ作業中、彦山丸及大渡船ヲ發見急降下爆撃(五十秒)  
モ、二弾命中(モス)機銃掃射ヲ散行銃聲音ハ天ヲ響クモ  
彦山丸ヨリ火災ヲ生ズ、結果彦山丸ハ沈没ス



海中ニ艦ハシテ待避セントスルヲ見テ、白米機ハ又モヤ之ニ對シテ機銃掃射ヲ浴セ(高亮彈ナリ)爲ニ炎上又ハ沈没セリ  
海中ニ艦ハシテ待避者ハ瀬底島或ハ崎本郡沿岸ニ漂流泳着セリ

爾後十數次ニ亘リ小綿隊ヲ以テ反覆銃掃撃ヲ敢行ハシ、頃夕閣ト雲間ヲ利甲南方ニ脱去ス  
二一三〇 空襲警報解除ナル

### 二戰線救護ノ状況

ノ渡久地港附近ニ掩蔽壕ヲ利用患者收容所ヲ設ケ殘留部隊要員タル軍醫一衛生下士官一衛生兵三並ニ船舶工兵部隊衛生下士官三ヲシテ渡久地港、濱本、崎本郡沿岸ニ救護班ヲ編成救護ニ任ズ  
二救護班ニ第一救急處置ヲ終ヘタル傷者ハ敵機ノ閉斷ヲ利甲兵站自勤貨車ヲ於テ收容セリ

一敵ノ使用兵器ハ機關砲ニシテ(高亮彈ヲ含ム)傷者ノ大部ハ重症ナリ 且ツ海中ニ飛込ミ止血法充分テラザルカ、又ハ全ク止血法行ハザル爲ニ血死ニ到ル者アリ  
海上救護又敵機ノ襲撃閉斷ナリ意ノ如ク收容スルヲ辭ス收容患者ハ敵機ノ閉斷ヲ利用シ名護患者療養所ニ入院セシムル戰死傷者ハ戰死一三名 戰傷九名(内入院七名)行方不明五名ニシテ行方不明者ハ戰死又ハ船ト共ニ沈没セルモノ如シ  
搜索中ナリ

尚戰死一三名中二名ハ海中ヨリ發見セリ

### 三備前所閉鎖ノ状況

閉鎖セズ

四新造材料ノ消費及應用材料ノ使用状況  
別紙戰線新造材料消費表ノ如シ  
艦隊及刺木ハ應甲材料ヲ使用ス

五業務ニ従事セル人員

軍醫 衛生部見習士官 弁士徳則

衛生下士官一 衛生兵一

衛生下士官各一 衛生兵各一

軍醫中尉 町田昌彌 衛生下士官一 衛生兵一 救護援助ノ為

救護道セリ

大其、他參考ト認ムベキ事項

ノ本作業中ニ於テ傷者多發セルハ待避時期遑遑セルト待避方法

ノ適切ナラザルニ基因スルモノナラン

2. 速カニ救助能又ハ魚船ヲ利用待前ニ待避スルヲ要ス

3. 待避途中急襲ノ場合ハ速カニ救命胴着其ノ他浮遊物ヲ利用

海中ニ散開スルヲ要ス

ニノ四 備由別括置保ノ三  
記状、スツ記風アル事、  
感況、ハ指シテ消ス救護  
ノ一 備ノ一  
ノ二 備ノ二  
ノ三 備ノ三  
ノ四 備ノ四  
ノ五 備ノ五  
ノ六 備ノ六  
ノ七 備ノ七  
ノ八 備ノ八  
ノ九 備ノ九  
ノ十 備ノ十



